

改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
23110	都市建設局 まちづくり計画部	都市計画課	課長	古川交末	042-769-8247
施策名	災害に強い都市基盤の整備				

1 施策の目的

市街地の防災機能の向上をめざし都市防災基本計画を策定するとともに、火災から大規模な自然災害まで様々な災害に備え、耐震化・不燃化を進めるほか、避難場所・避難路の確保など、災害に強い都市基盤の整備に努めます。

- ・ 広域避難場所整備事業
- ・ 都市防災基本計画策定事業
- ・ 幹線道路の整備事業

2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

- 相模原市地域防災計画に基づく広域避難場所の指定と誘導標識板等の設置
- 都市防災基本計画に係る基礎調査の実施及び計画の素案の作成
- 避難者が集中する幹線道路及び緊急輸送路となっている幹線道路の整備事業

3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

広域避難場所整備率については、目標としている旧相模原市域を対象とした広域避難場所の計画数は指定済みであり、また、都市防災基本計画の基礎調査により、広域避難場所は適正な位置に指定されていることが実証されております。なお、併せて、安全に迅速な避難ができるよう誘導標識板等の設置や、避難者が集中する幹線道路等の整備事業を実施しております。

4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	B	2次評価	B	3次評価	B
------	---	------	---	------	---

- ◆ 課題と解決策は、現状を検証・分析し、具体的に記入すること。
- ◆ 指標についても活動の成果や市民にわかりやすい視点「延焼の危険度」や「避難路整備率」などを検討すること。
- ◆ 指標1「広域避難場所整備率」の定義は、想定避難民に対する充足率をもって指標を検討すること。

5 改善に向けたスケジュール

改善項目	平成 20 年			平成 21 年												平成 22 年		
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①課題と解決策の明確化																		
○課題の整理と解決策の検討	→																	
○都市防災基本計画の検討・反映						● 素案												
②成果指標の設定																		
○施策の目的と成果の明確化	→																	
○新規指標の設定						● 設定												
○基準値・目標値の検討・設定																		

【課題】旧相模原市及び城山町においては、空地がなく建物が密集して延焼の危険性がある市街地が存在している。また、旧相模原市域には広域避難場所が指定されているが、城山町、津久井町、相模湖町及び藤野町では、広域避難場所が指定されていない。

【解決策】平成22年4月に策定予定の都市防災基本計画を市民へ周知し、防災まちづくりの意識を高めていくとともに、旧相模原市及び城山町においては、災害時の延焼の拡大を軽減するための幹線道路の整備を進め、延焼時の避難場所となる広域避難場所周辺の不燃化の検討を行います。

また、城山町、津久井町、相模湖町及び藤野町では、広域避難場所が指定されていないことから、当地域内に広域避難場所が必要かどうかを含めて、現在検討をしております。なお、平成22年4月に改訂予定の地域防災計画に広域避難場所は位置付けされます。